

システム名	メンテナンス管理システム(Webファイリング)	ユーザー	大手通信会社
旧システムの 問題点	光通信回線に関するユーザー管理とそのネットワーク管理資料の検索閲覧に苦慮していた。災害や機器故障などの危機管理対応に対して、迅速かつ感覚的な操作が容易に安価に実現したいという要望に強いもがあった。GISでは高度な機能があるがかなり高価なのが難点で、そこまでの機能がいないが、単純にイメージ上で位置確認が出来れば良く、そのポイントから目的の情報が関連付けが実現できる程度で十分である。また、現状エクセルやワードなどの電子データで情報管理しており、その表示画面上のポイントから、あらゆる情報がリンクできると有難いという要望が出ていた。		
メリットなど	ユーザー情報とその関連資料ファイルが一元的に管理できるようになる。さらに、エリア図などの地図をGISを使わずラスタ上で簡単に地図のポイントで情報を関連付けして情報の検索閲覧が容易かつ早くなり効率化が実現した。また、エクセルなどの電子データのイメージ上に任意にポイントを置き、それとあらゆるデータとのリンクが可能になることにより多角的な情報閲覧が可能となった。(ポイントレイヤー機能)		

導入システム(運用)などについて

